

1 単元名 「What do you like?」

2 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元は、色や形と果物等の好きなものを尋ねる “What ~ do you like?” の表現に慣れ親しむ活動や、友達に積極的に尋ねたり答えたりする活動を主とする。友達に好きな色や果物、食べ物を尋ね、答えてもらうインタビューゲームを通して、互いに「通じた、分かった」という気持ちを味わわせたいと考える。色や果物、食べ物などの英語表現は、日常生活の中で児童の身近な語彙として慣れ親しんでいるものもあるが、初めて出会う語彙もある。慣れない語彙に戸惑っている児童には、「使いながら学んで分かった」と実感できるよう学習を進めていきたい。そのために、インタビューゲームの前にカルタ取りゲームやフルーツバスケット型ゲームを行い、本単元で扱う表現や語彙に楽しみながら親しむ時間を設定する。

(2) 児童の実態

本校の特別支援学級は、知的障害学級（7名）、自閉・情緒学級（8名）で構成されており、1年1名、2年3名、3年3名、4年6名、6年2名の計15名が在籍している。意思表示はできるが限られた単語を発語するだけの児童から、友達同士で会話ができる児童までいる。コミュニケーション能力や発達段階、生活経験の差が大きな学級だが、活発な4年生を中心に毎日にぎやかに過ごしている。学校生活は全体指導で取り組む場面と、グループ学習で取り組む場面とに分かれる。国語や算数を中心とした教科学習では、4・6年生と3年1名の9名の high グループ、1・2・3年生の6名の low グループに分かれて行うグループ学習に取り組んでいる。今回は、外国語活動の授業のため3年生から6年生までの参加とする。

(3) 指導観について

昨年度までは、児童同士のコミュニケーションの問題や気持ちのコントロールの面から、外国語活動の中でも教師対児童という形式の学習が多かった。その中で、アルファベットの読み方や英語での簡単な挨拶、好きな食べ物の言い方など英語で表現する楽しさを体験してきた。今年度は、児童の勝敗や順序に対するこだわりが少なくなってきたため、児童と児童の関わり合いの中で学習を進めていけるようにしたい。また、本単元で扱う「果物」は、児童にとって身近で親しみやすいものである。日常生活の中で外来語として耳にするものも多く、デジタル教材によってネイティブな英語の音声に触れることで日本語との音声の違いに気付くであろう。ゲームや遊びを通して、英語での言い方を繰り返したり、簡単な表現を使って伝え合ったりすることで、「果物を英語で言えた」「相手に伝わった」という達成感や英語を使う楽しさを味わわせていきたい。

学習に見通しを持たせるための工夫

○指導時数の追加と繰り返しのある学習形態

教科書では4時間扱いの単元であるが、より定着を図るために本単元では6時間扱いとした。また、6時間の中を2時間ずつに区切り、扱う題材は変えるが同じ活動形態を繰り返すよう設定した。

学習意欲・興味・関心を持たせるための工夫

○デジタル教材の活用

デジタル教科書の「教材どうぐばこ」より“Hello song”や本単元で扱う語彙を映像と音声で流すことで、児童たちは楽しみながら意欲的に発音の練習を行うことができるだろう。また、ネイティブな英語の音声に触れることができ、日本語と英語の音声の違いへの気付きも期待したい。

○主のゲームにつながる活動の設定と発話量の確保

児童同士で尋ねたり答えたりし合うインタビューゲームの前に、カルタ取りゲームとフルーツバスケット型ゲームを設定することで、インタビューゲームで扱う表現に慣れ親しむことができるようにする。フルーツバスケット型ゲームの中で、全員で“What ~ do you like?”と繰り返すことでゲームを進行できるようにする。そうすることで、一人一人の発話量も確保でき、低位の児童でも表現に慣れ親しむことができるだろうと考えた。

3 単元の目標

○相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。

○進んで色や果物、食べ物の名前を言おうとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。

○色や果物、食べ物の言い方に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○日本語と英語の音声の違いに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

4 指導計画（6時間扱い）

次	活動のテーマ	主な活動
1	○色の名前を言ってみよう。	○Hello Song
2	○友達に好きな色を尋ねたり、答えたりしてみよう。	○カルタ取りゲーム ○フルーツバスケット型ゲーム ○インタビューゲーム ○Goodbye song
3	○果物の名前を言ってみよう。	○Hello Song
4 (本時)	○友達に好きな果物を尋ねたり、答えたりしてみよう。	○カルタ取りゲーム ○フルーツバスケット型ゲーム ○インタビューゲーム

		○Goodbye song
5	○食べ物の名前を言ってみよう。	○Hello Song
6	○友達に好きな食べ物を尋ねたり、答えたりしてみよう。	○カルタ取りゲーム ○フルーツバスケット型ゲーム ○インタビューゲーム ○Goodbye song

5 本題材で扱う表現・語彙

○表現 What ～ do you like? I like～

○語彙 red/yellow/blue/green/purple/orange/pink/brown/white/black

apple/strawberry/peach/melon/banana/kiwi fruit/grapes/orange/pineapple/lemon

hamburger/pizza/spaghetti/sushi/steak/salad/cake/egg/noodle/rice ball

6 本単元における児童の実態及び個別の目標

	児童名	単元に関する実態・特記事項	単元の個別目標
A	3年 男児	○自信がないときは、外国語以外でも発言することができない。 ○やることがわかると参加しようとする姿勢がみられる。	○日本語と英語の音声の違いに気付く。
B	3年 男児	○授業意欲はその時の気分によって大きく左右される。 ○集中力が途切れることが多い。	○色や果物、食べ物の言い方に慣れ親しむ。
C	3年 女児	○わかることは意欲的に活動できるが、英語を話すことに苦手意識をもっている。 ○ゲームや動きがある活動には意欲的に参加する。	○日本語と英語の音声の違いに気付く。
D	4年 男児	○外国語に興味があり、意欲的に参加することができる。新しいことを覚えることは好き。 ○全体の指示を聞いて、活動することができる。	○相手に伝わるように、何が好きかを尋ねたり答えたりする。
E	4年 男児	○わからない言葉があると消極的になり、発言が少なくなる。 ○やることがわかると意欲的に参加することができる。	○色や果物、食べ物の言い方に慣れ親しむ。
F	4年 男児	○英語を話すことに苦手意識をもっている。 ○わかることは意欲的にできるが、初めてのことには消極的。	○進んで色や果物、食べ物の名前を言おうとする。
G	4年 男児	○授業中の発言は英語以外でも少ない。自信がないときは発言することができない。 ○指示を聞こうとしているが、声をかけられないと参加できないこともある。	○色や果物、食べ物の言い方に慣れ親しむ。

H	4年 女児	○外国語に興味をもち、ミスを臆せず発言しようとする。 ○英語を覚えようとする姿が見られるが忘れてしまうことも多い。	○進んで色や果物、食べ物の名前を言おうとする。
I	4年 男児	○英語活動全般に意欲的で、発音にも興味がある。 ○他教科では、初めての活動や少し難しい課題に対して抵抗感がある。	○相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。
J	6年 男児	○外国語の授業に興味があるが、大きな声で話すことは少ない。 ○指示を聞いて、活動に参加できる。	○相手に伝わるように、何が好きかを尋ねたり答えたりする。
K	6年 男児	○外国語の授業は楽しみにしているが、注意が散漫になりやすい。 ○動きがある活動に意欲的に参加する。	○進んで色や果物、食べ物の名前を言おうとする。

7 本時の展開

学習活動	支援の方法 (○全体支援 ◆個別支援 ◎評価)	教材教具
1 挨拶をして、Hello song を歌い、チャンツの「What do you like? (果物編)」を言う。 ・ Hello. How are you? ・ I'm fine/happy/hungry tired/sad/sleepy (3分)	○一人ずつ、気分を尋ねる。(T1) ○全体で挨拶をし、児童と一緒に Hello song を歌い、チャンツ「What do you like? (果物編)」を言う。(T1)	PC デジタル教科書 大型テレビ
2 カルタ取りゲームを行う。 ・ What fruit do you like. ・ I like ~. apple/strawberry/peach/melon/banana/kiwi fruit/grapes/orange/pineapple/lemon (5分)	○既習内容を使って、雰囲気づくり・ウォーミングアップを行う。(T1) ◆果物を探すことができない児童に声掛けし、一緒に探す。(T1, T2)	果物カード
3 活動のめあてを確認する。 (1分)	果物の名前を言ってみよう。	果物カード PC
4 フルーツバスケット型ゲームを行う。(隣の教室へ移動する。)	○日本語でルールを説明し、安心して活動に取り組めるようにする。	デジタル教科書 大型テレビ

<p>・ What fruit do you like. ・ I like ～. apple/strawberry/peach/ melon/banana/kiwi fruit/ grapes/orange/pineapple/ lemon (10分)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈ルール〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 10種類のカードの中から4種類の果物を選ぶ。 ② “What fruit do you like?”を4、6年生が始めに言い、2回目は全体で言う。 ③ 教師が“I like ～.”と答える。 ④ 選ばれた果物のカードを持っている児童は移動する。 ⑤ ②～④を繰り返す。(10回行う。) </div> <p>◎日本語と英語の音声の違いに気付いている。(A、C児) 【言語や文化に関する気付き】</p> <p>◎果物の言い方に慣れ親しんでいる。(B、E、G児) 【外国語への慣れ親しみ】</p>	
<p>5 活動のめあてを確認する。 (1分)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; display: inline-block;">果物の名前を言ってみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; display: inline-block;">友達にインタビューしてみよう。</div>	
<p>6 インタビューゲームを行う。 ・ What fruit do you like. ・ I like ～. apple/strawberry/peach/ melon/banana/kiwi fruit/ grapes/orange/pineapple/ lemon (20分)</p>	<p>○ワークシートを配布し、名前を記入するよう声をかける。(T1)</p> <p>○教師と代表児童によるデモンストレーションで質問の仕方と答え方を確認する。(T1)</p> <p>◆一人で行うことが難しい児童には一緒について回る。(T2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈ルール〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 聞き手と話し手の二人組を作る。 ② “What fruit do you like?”と聞き手が尋ね、話し手は好きな果物を答える。 ③ 聞き手は話し手の答えた果物の絵に丸をつける。 ④ 聞き手と話し手の役割を交代して、①～③を繰り返す。 ⑤ 相手のワークシートに名前をサインする。 </div> <p>◎相手に伝わるように、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとしている。(D、I、J児)</p>	<p>ワークシート 探検バック 書画カメラ 大型テレビ</p>

<p>7 学習の振り返りを行う。 (5分)</p> <p>8 歌を歌い、挨拶を行う。 ・ Goodbye song (1分)</p>	<p>◎進んで果物の名前を言おうとしている。(F、H、K児)【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>◎果物の言い方に慣れ親しんでいる。(E、G児) 【外国語への慣れ親しみ】</p> <p>○全体に向け感想を聞き、ワークシートの振り返りを行う。</p> <p>○やり取りが上手にできた児童を取り上げて称賛する。</p> <p>○Goodbye song を歌い、挨拶をする。(T1)</p>	
--	---	--

板書計画

くだものの なまえを いってみよう。

途中で追加。

ともだちに インタビューしよう。

What fruit do you like?

I like ~.

果物カード

座席表

大型テレビ

E G

F B

K I H

C A

J D

フルーツバスケット型ゲーム時

大型テレビ

